

大野城跡
(四王寺県民の森)

アクセス
MAP

九州自動車道

福岡IC

香椎

福岡都市高速道路

JR篠栗線

長者原

篠栗

須恵スマートIC

JR筑紫線

福岡空港

博多

西鉄福岡(天神)

JR鹿児島本線

肥前線

宇美

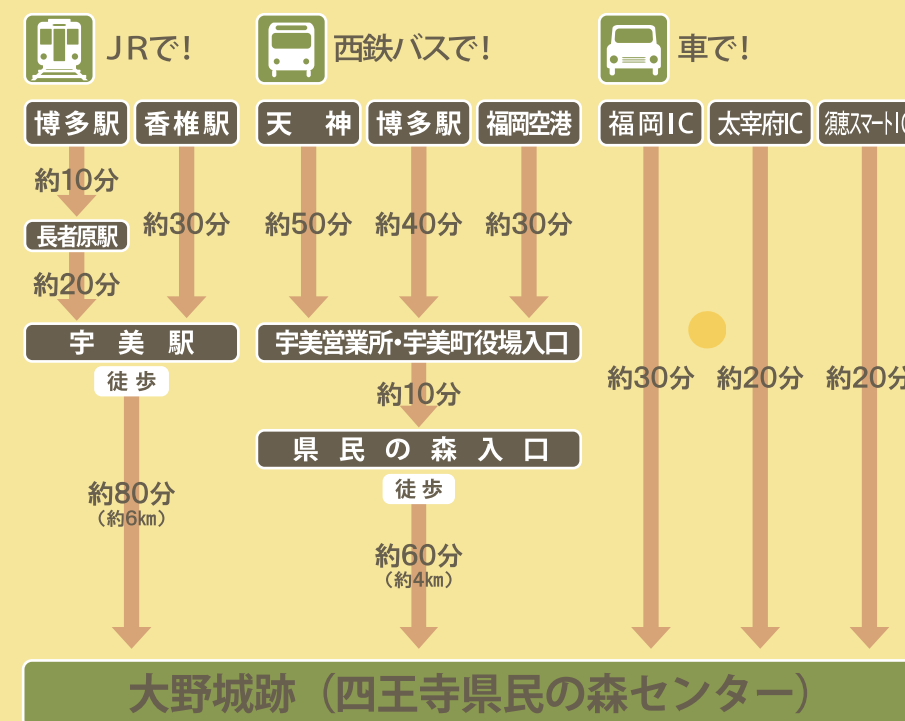
宇美町

四王寺 県民の森センター

南福岡

大野城

太宰府IC



「四王寺県民の森」webサイト

この記録から、大野は四王寺山にある大野城、椽は福岡県筑紫野市と佐賀県基山町にまたがって所在する基肆城のことで、「二城を築かしむ」とあることから、この年に大野城と基肆城を築城したことがわかります。また、築造には、憶礼福留と四比福夫という百済の高官の技術指導があったことが読み取れます。

大野城跡の構造

大野城跡は、四王寺山の尾根や谷部を全長約8kmにも及ぶ長大な土塁で囲んだ巨大な山城です。土塁とは、敵の侵入に備えて造られた城壁のことです。質の違う土を数cmごとに積んでは叩きしめるという工法で巨大な土塁を造っています。このような工法を「版築（はんちく）」といいます。

一部では石垣を造っています。百間石垣・大石垣・北石垣・小石垣・水ノ手口石垣などがあり、なかでも、宇美町側から県民の森センターへ向かう途中の右側にある百間石垣は、全長約180mにも及ぶ立派な石垣です。

城には、必ず出入口が必要です。現在、9箇所で城門跡が発見されています（宇美口城門・太宰府口城門・坂本口城門・水城口城門・原口城門・北石垣城門・小石垣城門・観世音寺口城門・クロガネ岩城門）。

お城の中には、多くの建物があったと推定できる礎石建物跡が70棟以上（古代に関わる建物跡は53棟）見つかっています（主城原礎石群・村上礎石群・尾花礎石群・増長天礎石群・猫坂礎石群・広目天礎石群・八ツ波礎石群・御殿場礎石群）。尾花礎石群は焼米ヶ原とも呼ばれており、そこでは炭化したお米を拾うことができることから、多くは稲倉であったと考えられています。

その後の大野城跡

大規模な土木工事によって造られた大野城でしたが、半島から連合軍が攻めてくることはありませんでした。

しかし、その後、新羅が日本を呪って祈祷しているという噂が伝わってきたため、774年、大野城跡に四天王寺（四王寺・四王院）というお寺が創建されます。現在、四王寺山という名前では呼ばれている由来は、奈良時代に創建されたこのお寺と考えられます。

現在、四王寺山には、四天王である「毘沙門天」「広目天」「持国天」「増長天」と呼ばれる地名が残っています。これも四天王寺の名残といえるでしょう。

お寺の創建当初の建物跡などは発見されておらず、その実態は謎に包まれたままです。

⑨ 宇美口城門跡



宇美町立歴史民俗資料館に展示中の礎石

百間石垣付近に、本来は「宇美口城門」があったと考えられています。城門の礎石は、横の川底から発見されており、現在、宇美町立歴史民俗資料館と県民の森センターに展示されています。

資料館と県民の森にある礎石は、それぞれ形状が異なっていることから、建替え等による城門の変遷があったと考えられています。

⑩ 北石垣



百間石垣から土塁線を東に登って行くと北石垣があります。

この石垣は、版築土塁の外側に石を張り付けるように造られていることがわかっています。この構造を「貼石垣」と呼び、百間石垣のようにすべて石で造られているものと異なる構造となっています。谷間ではなく尾根先端部に張り付くように造られていることから、城外からの敵に見えるように造られたものと考えられています。

⑪ 北石垣城門跡



鉄製軸摺金具出土状況
(写真提供：九州歴史資料館)

北石垣付近にある城門跡です（現在は埋め戻されています）。平成15年水害後の復旧工事に先立つ発掘調査によって発見されました。

発掘調査の結果、城門前面に1mほどの石垣を造り、段差をつけていることがわかっています。これは「懸門」と呼ばれ、普段は梯子などを架け、城門を出入りし、敵が攻めてきた場合はこの梯子をはずし、段差をつくりだすという防御性に優れた構造となっています。

また、調査では、門の開閉道具である「鉄製軸摺金具」が礎石に付着した状態で出土しました。

⑫ 小石垣



石垣の一部しか露出していない（残っていない）ことから、小石垣という名称がついていますが、本来は、大きな谷をふさぐように石垣が造られていたと考えられており、現状より長い石垣であったと推測されています。

現在は整備され、綺麗な石垣の一部を見ることができます。また、近くから城門の礎石が見つかっています。

⑬ 小石垣城門跡



小石垣近くの川の中から礎石が発見されています。この付近は「太宰府旧跡全図 北図」に「門ノ石スエ」と記されており、百間石垣や北石垣と同じように、小石垣にも城門があったと考えられています。

⑭ 主城原礎石群



(写真提供：九州歴史資料館)

大野城跡中央部の高台にあります。ここでは掘立柱建物跡（4棟）と礎石建物跡（10棟）が見つかっています。3間×7間の掘立柱建物跡が発見されていることから、大野城跡内部の役所的な機能をもつ建物があったと考えられています。

なお、建物群の南端にあたる前田地区では、大宰府政庁でも使われている文様磚や「館」と書かれた土器も見つかっています。

⑮ 尾花礎石群（焼米ヶ原）



焼米ヶ原からの展望

県民の森センターから南東側に登った大野城跡の南の山頂部に位置します。近くの土塁上からは、九州国立博物館や基肄城跡が展望できます。

ここには10棟の礎石建物跡があり、そのうちの1棟の建物跡周辺からは、黒く炭化した米がたくさん採集されることから「焼米ヶ原」と呼ばれています。

⑯ 太宰府口城門跡



(写真提供：九州歴史資料館)

大野城跡最大の城門です。現在残っている門跡は、両側を石垣で組み、4本柱の瓦葺櫓門となるタイプで、奈良時代以降のもんです。発掘調査の結果、3回建替えがあったことがわかっています。また、地鎮具が出土しており、門の建替え時に地鎮祭が行われていたと考えられています。

① 県民の森センター（ワンヘルスの森ミュージアム）

昭和 51 年（1976 年）にオープンした「県立四王寺県民の森」は、森の四季を感じながら森林浴を楽しむことができる憩いの森です。県民の森センターには、「ワンヘルスの森ミュージアム」もあり、ワンヘルスや自然、そして、大野城跡など四王寺山の歴史について楽しく学べる施設となっています。



【開園時間】 4 月～9 月／AM 9：00～PM 6：00
10 月～3 月／AM 9：00～PM 5：00
【休園日】 月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）
12 月 29 日～1 月 3 日
【住所】 福岡県糟屋郡宇美町大字四王寺 207
【電話】 092-932-7373

② こどもの国広場



こどもの国広場では、森林浴を楽しみながら、芝生の上で遊ぶことができます。

また、遊具も設置しており、こどもたちの遊び場として多くの人に利用されています。

広い敷地なので、団体と一緒に野外活動を楽しむこともできます。

③ 増長天礎石群



大野城跡南側の内周土塁に接して 4 棟の礎石総柱建物跡が見つかったります。

発掘調査の結果、礎石建物の外周に掘立柱が立つ構造から、礎石建物だけの構造へ移り変わっていったことがわかっています。

焼米ヶ原駐車場のすぐ近くにあるので、見学しやすい環境となっています。

④ 鏡ヶ池



増長天礎石群のそばにあります。池の水は水源がないにも関わらず、どんな渇水期でも枯れないといわれており、雨乞いに関する伝説が残っています。また、「武具浸けの池」とも呼ばれています。

⑤ 26 番札所



大野城跡では、土塁線上を中心に、三十三体の石仏群が点在しています。これは、江戸時代の寛政 12 年（1800 年）に、博多、宇美、太宰府の人々が力を合わせ、近畿以西の西国三十三観音霊場の「霊土」を集め、建立されたものです。

その一つ、千手観音菩薩が建立されている 26 番札所からは、福岡市街地を一望することができます。

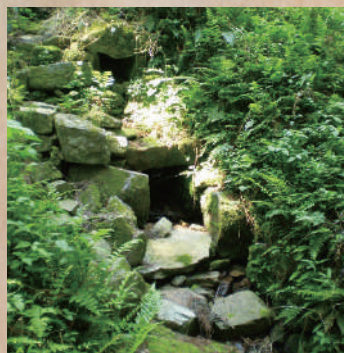
⑥ 毘沙門堂



四王寺山の最高峰：大城山頂上（410m）付近にあります。普段は静寂に包まれているが、正月 3 日、早朝から午前中にかけて、四王寺毘沙門詣り（宇美町指定無形民俗文化財）が行われ、多くの参拝者で賑わいます。

参拝者は、お堂の前に置かれたお盆からお賽銭を借りて帰り、翌年の参拝のときに、借りたお賽銭の倍の額を返し、また新たにお賽銭を借りて帰るということを繰り返すものです。このお詣りをするので、1 年間お金に不自由しないと伝えられています。

⑦ 屯水水門



県民の森野外音楽堂から西に少し下った谷部にあります。

昭和 51 年に宇美町が実施した大野城跡現地調査で発見されました。

本来は、石垣があり、水門はこの石垣の構造の中にあつたと考えられています。水門部は極めて大きな石材で組まれており、内部は低い階段状になっています。

⑧ 百間石垣



宇美町側から県民の森管理センターへ向かう車道の右側にあるのが、宇美町内にある百間石垣です。百間石垣は、全長約 180m の大野城跡最大の石垣です。内部まで石を積めた「総石垣」構造となっています。また、石垣の一部には隙間があり、そこから水が流れていることから、これも水門の一部と考えられています。

四王寺三十三体石仏

土塁線上を中心に、三十三体の石仏群が点在しています。石仏群の建立は、12 番札所の岩壁に刻まれている銘によると、寛政12年（1800年）8 月に太宰府天満宮の社僧で、原山無量寿院の由緒を汲む華台坊と博多の人々が発起人となり、西国三十三観音霊場の「霊土」を集め、博多・宇美・太宰府の人々が力を合わせ、建立したことがわかっています。

大正 8 年（1919 年）に筑前参宮鉄道が開通したのに伴い、かつては、四王寺三十三体石仏をめぐる「千人詣り」という行事が行われていました。戦前までは盛んに行われていたましたが、現在は途絶えており、個人的に石仏をお詣りする人たちが花や水を供えています。



12 番札所（千手観音菩薩）



26 番札所（千手観音菩薩）



30 番札所（千手観音菩薩）

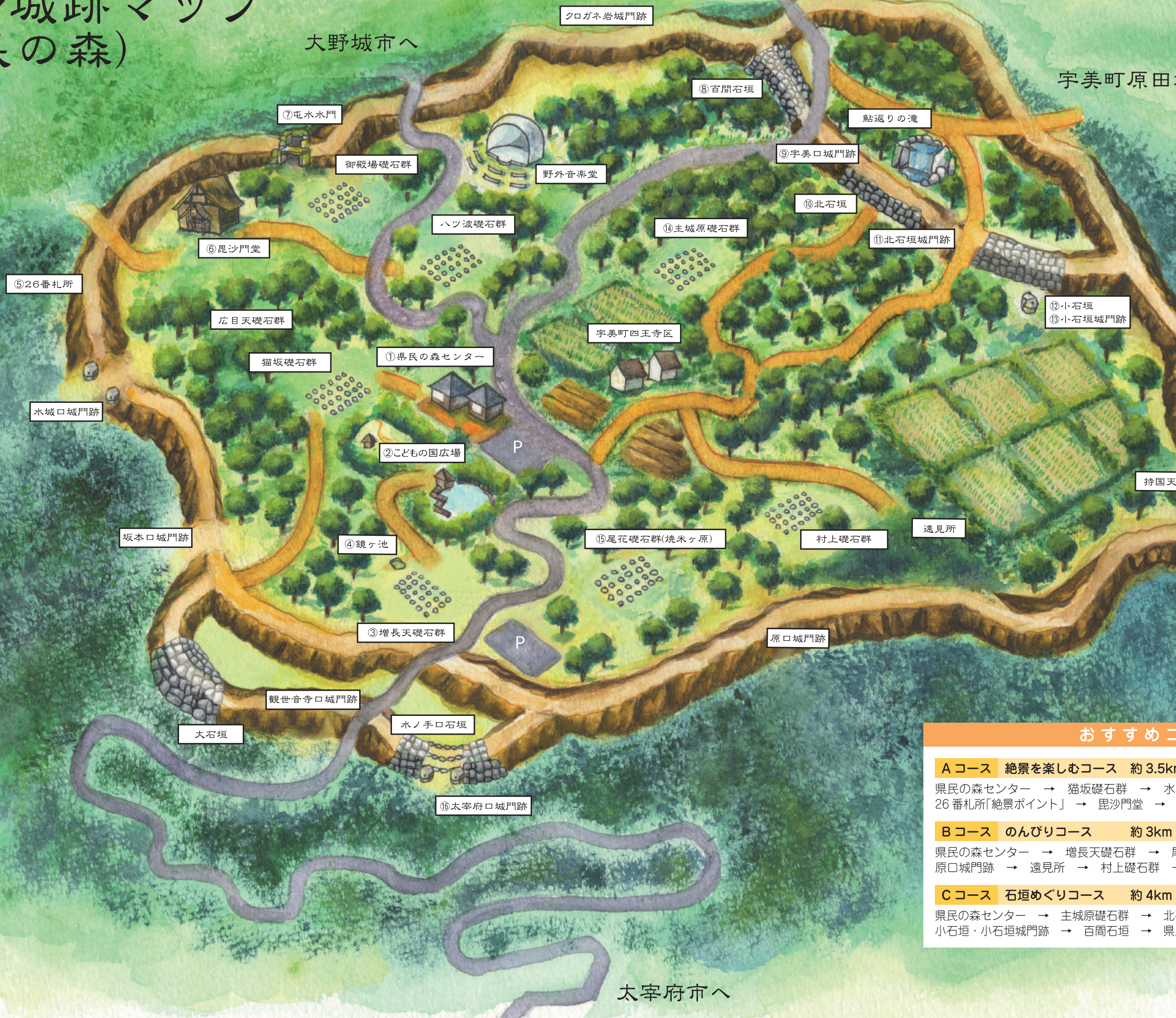
大野城跡マップ (県民の森)

大野城市へ

宇美ハ幡宮方面へ

宇美町原田地区へ

太宰府市へ



おすすめコース

Aコース 絶景を楽しむコース 約3.5km 所要時間：約2時間

県民の森センター → 猫坂礎石群 → 水城口城門跡 →
26番札所「絶景ポイント」 → 毘沙門堂 → ハツ波礎石群 → 県民の森センター

Bコース のんびりコース 約3km 所要時間：約1時間30分

県民の森センター → 増長天礎石群 → 尾花礎石群(焼米ヶ原) →
原口城門跡 → 遠見所 → 村上礎石群 → 県民の森センター

Cコース 石垣めぐりコース 約4km 所要時間：約2時間30分

県民の森センター → 主城原礎石群 → 北石垣 → 北石垣城門跡 →
小石垣・小石垣城門跡 → 百箇石垣 → 県民の森センター